



土笛

焼き物の歴史と文化に親しむ！

焼き物の「器」である土器の歴史は、およそ1万2千年前までさかのぼります。土器は、粘土をこねて形を作り、火で焼き上げたもので、食物を貯え、食べ物の調理をするための道具です。粘土という自由に造形のできる材質を使ったために、土器は時代とともに形や模様がさまざまに変化しており、時には不思議な形に作り上げたものや、実用を越えた美的な美しさが見られるものもあります。土と火の融合した造形の素晴らしさをうかがわせます。

瀬戸内市での焼き物の歴史は古く、縄文時代に牛窓町牛窓の黄島貝塚や邑久町豊原の大橋貝塚から縄文土器が出土しています。弥生時代前期には邑久町尾張の門田貝塚から「門田式」と呼ばれる弥生土器が多く出土しています。

海に面している瀬戸内市の地域的特性から、弥生時代後期から古墳時代後半にかけて土器を用いた塩づくりが行われました。この製塩用の土器は、最初に発見された牛窓町師楽の地名から「師楽式」土器と命名されています。

長船町には「土師」や「須恵」の地名にあるように、古墳時代から奈良時代

にかけて作られた土師器や須恵器づくりとの関わりをうかがわせる地名も残っています。事実、瀬戸内市東部から備前市西部にかけて約110基もの須恵器の窯跡が残っており、中四国地域で最大の須恵器の生産地でした。

その後、須恵器の流れをくむ備前焼は、鎌倉時代以降現代へ続く岡山県を代表する焼き物として、また江戸時代、岡山藩筆頭家老である伊木家六代目の忠興が趣味として茶器・花器などを焼かせたお庭窯が起源とされている茶器を中心とする邑久町虫明の虫明焼など、現在も作家さんが作陶を続けています。

今回、焼き物と関係が深い瀬戸内市と備前市で、「備前瀬戸内発見伝実行委員会」を組織し、連携講座として岡山県生涯学習大学主催講座を計画しました。この講座では、焼き物の講義や現地研修、焼き物の原点である野焼きの実技を行い、焼き物の歴史と文化に親しんでいただきます。

★対象 県内在住の学びたい人（4回すべてに参加できる人）

★定員 40人（定員を超えた場合は、抽選）

★申し込み方法 7月15日（金）までに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記したメモと、返信先を記入し80円切手をはった返信用封筒を同封して、お申し込みください。

★受講料 4千円（講座費・入館料・

「備前瀬戸内発見伝」岡山県生涯学習大学主催講座

日程	10/5 (水)	11/16 (水)	11/30 (水)	1/25 (水)
内容	講義「焼き物の歴史と文化」 実演「プロクローの技術」	現地研修「備前焼古窯めぐり～大窯から現代窯まで～」	実技「野焼き土器の製作による風焼の絵付け」	実技「土笛・土器の野焼き」
会場	邑久町公民館 寒風陶芸会館	備前焼伝統産業会館・備前南大窯跡ほか	寒風陶芸会館	寒風陶芸会館

受講時間は、いずれも午前10時～午後3時です

★受講決定 申込期限後、決定者には決定通知と第1回講座の受講案内を送ります。

■申込・問い合わせ先
市教育委員会社会教育課
〒701-4392
瀬戸内市牛窓町牛窓49-11
☎3415604

材料代・保険代を講座初日に収金。

ジャンプ ステップ ホップ

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか？



古典を通して豊かな時間を共有している会員の皆さん

心豊かに自分を磨く 古典を楽しむ会

長船町公民館自主グループの「古典を楽しむ会」は、古典を通して昔の人のものの考え方、感じ方を知り、豊かな時間を楽しもうという会で、月1回開講しています。

これまでは漢詩・漢文を学んできましたが、さらに古典への興味を深めるため、本年度は漢文と古文の両方を学ぶ予定です。

古文は高校生が勉強する「古文入門」を中心に、今昔物語や宇治拾遺物語などの一部を



国定先生(右)の解釈を書き留める受講生たち

教材に、講師の国定忠治先生が本文を読みながら解釈や文法などについて分かりやすく解説。受講生の皆さんはペンを走らせ意味を書き留めます。淡々とした時間が流れる中、興味を呼び覚ます話に引き込まれ、受講生の皆さんの表情が豊かになっていきました。

「古典的なものが好きで積極的に参加している」と話す受講生。生き生きと、会の名のとおり学びながら古典を楽しむ皆さんです。

あなたも一緒に古典を楽しんでみませんか？ ただ今、会員募集中です！

★活動日 第2火曜日 午前9時30分～11時30分
★講師 国定忠治さん
★会員 12人
★会費 1回1,000円

■問い合わせ先
伊原笙子さん
☎2613743

ひたむきにボール追う 今城ソフトボールスポーツ少年団



力いっぱい練習に打ち込む団員たち

元気な声と、きびきびとした動き。今城ソフトボールスポーツ少年団の団員たちが、今城小学校のグラウンドで練習に励んでいます。

体操で体をほぐした後、高学年と低学年に分かれてキャッチボール。団員たちは上気した顔でリズムカルに送球を繰り返します。守備練習では、懸命に白球を追いかけて、懸命にボールを捕まえます。バント練習も、真剣にこなします。

技術の向上だけでなく精神面を鍛えることに重点を置く同団には、「大声を出す。グラウンドの中は歩かない。だれにでもあいさつをする。礼



力を合わせ瀬戸内市ナンバーワンを目指す、今城ソフトボールスポーツ少年団

儀正しくする」という4つの誓いがあります。

「入団してよかったのは、友達がいっぱいできたこと。練習は厳しいけど楽しい」と、キャプテンの佐藤淳君（11歳・邑久町北島）。

瀬戸内市のナンバーワンを目指し、練習開始30分前から自主練習を開始する団員たちです。

★活動日 土・日曜日
午前9時～正午

★会員 25人
★会費 年1万円

■問い合わせ先
寺尾智子さん
☎086194213054